

第1回寝屋川市緑の基本計画審議会における意見内容と今後の対応方針

関連項目	意見内容	今後の取り扱い
みどりの動向 関連計画など	<ul style="list-style-type: none"> ○ みどりの大阪推進計画、都市計画区域マスタープランとの整合を確認すべき【増田委員】 ○ 大阪地方計画版の都市農業振興基本計画を踏まえるべきである。【増田委員】 ○ 市産業振興条例に基づく農業振興等を踏まえるべきである。【北川委員】 ○ 国の環境対策では、緩和策はもとより当面適応策の指針を策定。【増田委員】 ○ 淀川河川計画の見直しについて、関連計画として整理すべき。【増田委員】 ○ みどりに関わる様々な法整備等を整理すべき。【増田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関連計画として整理し、計画改定に反映する。
都市公園など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政策論ではなく、パークマネジメントが重要。【増田委員】 ○ 公園協議会の設置など民間活力の導入、使いやすさの向上などが重要。【増田委員】 ○ 身近な公園の活用など、利用者の視点からの議論も重要である。【中村委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民等との計画づくりや公園公募設置管理制度の活用などによる整備推進や、市民主体による公園の維持管理方法を検討する。
ネットワーク 周辺市との連携 など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生駒山系や寝屋川流域等の立地特性を考慮し、周辺市との連携が重要。【増田委員】【石田委員】 ○ 寝屋川市駅からのネットワークづくりや、戦略的なみどりづくりが重要。【石田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広域的なみどりの資源に関わる周辺市との連携方策を検討する。 ○ みどりの骨格や拠点づくりや、これらを中心としたネットワークの形成を検討する。
市民等とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのように市民等の行動を誘発していくかが重要である。【増田委員】 ○ 市民等によるみどりとの関わり方が見える計画にするべき。【増田委員】 ○ 公園利用等ではゲスト的発想ではなく、市民によるサービス提供を考える時代である。【増田委員】 ○ 生物多様性の視点等から、企業として市の発展に貢献できる候補地が欲しい。【大迫委員】 ○ 緑化重点地区と保全配慮地区の設定や、保全・ファンドの仕組みなどを考えるべき。【増田委員】 ○ 学校における畑整備や花壇づくり後の維持管理が課題。【辻委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民等との協働によるみどりづくりのさらなる充実や、みどりに関わるきっかけづくりと仕組みの構築を検討する。 ○ みどりの現状やまちづくり計画などを踏まえ、今後優先的にみどりづくり等に取り組むべき地区として、緑化重点地区や保全配慮地区の設定を検討する。
目標設定など	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明確な指標による進捗管理や、フィジビリティ（実現可能性）の確保が重要。【増田委員】 ○ 定量的指標としては困難だが「緑視率」の概念を盛り込むべき。【山野委員】 ○ 目標の下方修正のみではなく、量に代わる質的な向上を織り込む必要がある。【工藤委員】 ○ 感覚的な設問ではなく実行動的指標が望ましい。【増田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「身近にある、目に見えるみどりを増やす」、「たのしめるみどりを増やす」、「かかわれるみどりを増やす」ことを念頭に、目標設定を検討する。
アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問9「最近15年」や問16、問17の表現方法や、設問間の整合が必要。【山野委員】 ○ 問12について、具体的回数を記載しておくほうが良い。【増田委員】・ 問17について、地域行事に限定する必要はない。【増田委員】 ○ 中・高校生意向や学校敷地での緑化状況、市民活動団体等の意向を把握すべき。【増田委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民、事業者へのアンケート調査票を修正、配布、回収 ○ 上記対象者に加えて、自治会(201)、市民活動団体(20)、公立学校小・中・高校(39)、学校法人(3)、公立中学・高校生(約1,000)を対象に追加調査を実施 ○ 後日、調査結果を踏まえ数団体へヒアリング調査を実施